

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 2018

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			デイルームに加え、運動できるスペースを設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			当日の利用者の状況に応じて職員の配置数を変えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		施設内は全てバリアフリーであるがエレベーターは設置していない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			モニタリングやケース会議に参加しミーティングで情報の共有を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者にアンケート調査を実施している。回答いただいた内容については全職員に周知している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			評価表の結果については、公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	外部評価は、行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			法人全体での内部研修実施、外部研修にも定期で参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			アセスメントについては、モニタリング時に保護者に確認し、更新している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			利用されている利用者に応じたアセスメントを作成し、使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			ミーティング時に、利用者の状況に合わせプログラムのアイデアを出している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			毎月新しいイベントを行っている。定期活動は発表会で保護者に見てもらっている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			一日外出やイベントを取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用者個々に合わせ、作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			利用者を受け入れる前に前日のケース記録の確認と当日の流れは朝礼で確認している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎後、その日に気付いたことを話し合い、振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		職員全員で業務日誌の確認を行い各職員で利用者のケース記録を作成している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングを行い、必要であれば見直しは随時行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		日々の活動の中に各利用者に応じた支援を取り入れている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議に児童発達支援管理責任者及びケース担当職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		支援学校以外の一般校の利用者の下校時間も事前に確認している。その都度、連絡調整を行い、必要があれば、学校と直接行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在対象者はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要があれば、保護者に確認を行った上で連携をとり、利用者の支援を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		モニタリング時に卒業後の意向を確認し、必要があれば情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		支援センター主催の研修は毎回参加している。ケースに関しても相談を行い、助言を受けている。
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現段階では、放課後児童クラブや児童館との交流はないが、イベント等で利用者の兄弟も参加してもらい、一緒に活動している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		児童の連絡会には、毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートを通じ、当日の様子は伝えている。必要があれば、保護者に連絡をし話し合っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者から要望があった際は、行うようになっている。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		その都度、必要な説明は行っている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談があった際は必要な助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は無い。保護者参加のイベントを設けている。その際、保護者同士の交流が出来るようにしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった際は、ミーティング等で全職員に周知し、原因や今後の対策を考えている。利用者から意見があった場合も保護者にその内容を報告するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、予定表を配り、必要に応じて電話連絡を行うようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		必要があって、事業所外に書類を持ち出す際は、十分取り扱いに注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の意向や思いは、モニタリング等で確認を行い、情報について必要があれば伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現状は行われていない。今後は参加して頂けるようにしたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルを作成し、職員に周知しているが、保護者への周知は行っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を年2回実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待に関する研修に参加し、職員に周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		屋外活動などで、活動の制限を行う必要がある場面(急な飛び出し等)の説明を行い、同意を得るようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメントを取る際に、アレルギーについての確認を行っている。現状はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットについては、事例を作成し、職員に周知している。